

英語科学習指導案

日時	平成17年9月21日(水)5校時	学級	1年2組37名(男子18女子19)
場所	盛岡市立河南中学校	授業者	堤 晶子

1、単元名

Unit 6 南半球からのメール (NHEC Book 1)

2、単元の目標と言語材料

- (1) 「一般動詞の3人称単数現在形」の文の形・意味・用法を理解することができる。
- (2) 「一般動詞の3人称単数現在形」の文を用いて、人について簡単な紹介や、問答することができる。
- (3) 日本とオーストラリアの季節が逆であることや、オーストラリアで日本語が学ばれていることを知る。

3、単元について

本単元は「オーストラリア」を題材としている。Part 1では、アルバムを見ながらマークがオーストラリアに住む姉を由美に紹介する場面である。3人称単数現在形の肯定文が導入されており、ここで学んだ英文を用いて、人について簡単に紹介する英文を書かせ、暗唱・スピーチをさせたい。Part 2は、マークに届いた写真付きのメールを見ながらの場面である。3人称単数現在形の疑問文の形・意味・用法を理解させ、それを用いて簡単な対話をさせたい。また日本とオーストラリアでは季節が逆であることに気づかせたい。Part 3では、姉の夫が日本語を教えていること、2人は家庭でも英語ではなく日本語で会話しているという内容である。オーストラリアでは日本語を学ぶ人が多いことにも触れ、国際理解につながるよう配慮したい。3人称単数現在形の否定文の形・意味・用法を理解させ、紹介文を改めて作文したり、その内容についてスムーズに問答させたい。以上のようなPart 1～3の活動を通じて単元の目標を目指したい。

4 単元の評価規準(別紙)

5、生徒について

全体的に明るく、和やかに授業を受ける学級である。英語に興味を示しており、会話やペアワークにも意欲的に取り組む。定期テストや実力テストの結果を他学級と比較してみると、男女差はほとんどないが、自己表現を好まない生徒を含む低位の生徒が男女共数名おり、指導に工夫が必要な学級である。

英語を苦手とする生徒も授業には遅れないよう取り組んでおり、音読や会話練習など抵抗がない生徒が多い。そのやる気を大切にしつつ、ペアワークを中心に授業を組み立てながら、教え合いの雰囲気の中で、全体のレベルを上げていきたいと考えている。

単元の事前テストの結果からみると、一般動詞については、既習の動詞(like, want, play, have)を含む文の意味と綴り・用法を理解しているのは24名、意味を理解しているが綴りを書くことが難しいのは8名、理解が不十分であったのは5名。like や play 以外はあやふやな生徒もあり、Warm up や書く活動での反復練習の機会を増やしていかなければならないと考えている。

6、本時について

(1)指導計画(Unit 6・・・7時間扱い)

Part 1 (p50～51)	3人称単数現在形(肯定文)・・・	2時間(本時2/2)
Part 2 (p52)	3人称単数現在形(疑問文と応答)・・・	2時間
Part 3 (p53)	3人称単数現在形(否定文)・・・	2時間
Unit 6まとめ、単元テスト	・・・	1時間

(2)指導にあたって

一般動詞の3人称単数現在形の肯定文は前時に学習している。教科書 p50 の内容を参考にして各自で人を紹介する文を書き、暗唱して発表できるまでを目標として肯定文を定着させたい。前時の復習として本文の音読を行い、暗唱を目標に内容を想起させる。次に紹介する相手の情報を得るために、What do you 一般動詞～? 等による問答を行う。あらかじめ作文までのモデルを示し、イメージを持たせながら活動させたい。前時の復習は短時間で行い、作文や発表の時間を確保できるよう充分配慮していきたい。

(3)本時の目標

一般動詞の3人称単数現在形の文の形・意味・用法を正しく理解し、書くことができる。

<書くこと>

人についての紹介文を、文法に従って正しく発表することができる。<話すこと>

(4)本時の評価規準と具体的評価規準

	評価規準(観点)	評価場面(方法)	Aの状況例	Bの状況例	Cへの手立て(支援)
書くこと	一般動詞の3人称単数現在形の(e)sの正しい形や英文の用法を理解し、正しく書くことができる。 (表現の能力)	・人を紹介する英文を書く場面(ワークシート)。 ・観察	人についての紹介文を3人称単数現在形を用い、4文を正しく書くことができる。	人についての紹介文を3人称単数現在形を用い、3文以上正しく書くことができる。	・つまづいている動詞について説明を加える。 ・机間指導し、教科書の本文を参考にできるよう助言する。
話すこと	人についての紹介文を、文法に従って正しく発表することができる。 (表現の能力)	・ペアや学級の前で暗唱した英文を発表する場面。(指名、観察)	聞き手に内容を伝えられるように、場面に合った表現方法(表情や言い方等)を工夫している。	ほとんど原稿を見ずに、ほぼ正確な発音・イントネーション、適切な声量で発表することができる。	・机間指導をして読めない単語について援助する。 ・暗唱できない生徒には教師が隣で慣れるまで何度か言わせる。

(5)本時の展開(別紙)

(6)本時の評価

一般動詞の3人称単数現在形の文・意味・用法を正しく理解し、書くことができたか。

人についての紹介文を、文法に従って正しく発表することができたか。

(5) 本時の展開

段階	学習内容 (教師の支援)	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	1 挨拶 2 前時の復習 A L の後に続き音読させる (全体 ペア) 3 共通の課題を確認させる	1 挨拶 2 前時の復習 A L の後に続き音読する (全体 ペア) 3 共通の課題を確認する	1 元気に短時間で言う 2・モデルのリズムやイントネーション、発音に近づけるよう意識させる ・暗唱を目指す (look up) 3 課題をプリントに書かせる
<div style="border: 3px double black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 人を紹介する英文を作り、発表しよう </div>			
展開 40分	4 ペアを組み、相手を紹介する情報を得るため互いにインタビューをさせる 5 メモと教科書 p50 の内容を参考にして相手を紹介する英文を作らせる 6 英文が完成したら、発表ができるよう自分で練習し、その後隣の人や周りの人に聞いてもらうよう指示する 7 全体の前で何人かに発表させる	4 ペアを組み、相手を紹介する情報を得るため互いにインタビューをする 5 メモと教科書 p50 の内容を参考にして相手を紹介する英文を作る 6 英文が完成したら、発表ができるよう自分で練習し、その後隣の人や周りの人に聞いてもらう 7 全体の前で発表する	4・インタビューと紹介文作成のモデルを示しイメージをつかませる ・インタビューは起立し、英語で行うことを指示する 5・一般動詞の3人称単数現在形を正しく書けるよう机間指導をする ・He, She への書き換え、語順、動詞の綴りが正しいか等のポイント伝え、隣同士で確認させる ・6・発表の評価規準は A : 暗唱 B : ほとんど見ずに正しく発表 ・周りの人に聞いてもらうときも同じ規準、お互いに評価する 7・挙手で発表させたい ・A L から発音、イントネーション、声の大きさ、場面に適したジェスチャー等への評価を行う
終末 5分	8 定着の確認 9 家庭学習の内容を伝える 10 挨拶	8 学習内容の確認 9 家庭学習の内容を知る 10 挨拶	8 学習内容を振り返り、まとめ項目をチェックする

【別紙】 4 単元の評価規準

単元名 Unit 6 南半球からのメール

単元の目標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>Unit 6</p> <p>一般動詞の3人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>一般動詞の3人称単数現在形の文を用いて、人について簡単な紹介をしたり、問答することができる。</p> <p>日本とオーストラリアの季節が逆であることや、オーストラリアで日本語が学ばれていることを知る。</p>	「聞くこと」			
	<p>（言語活動への取組）</p> <p>* うなづいたりメモをとるなど、相手の話に関心を持っている。</p> <p>（コミュニケーションの継続）</p> <p>* 理解できない時、説明を求めたり、聞き返したりしている。</p>	/	<p>（正確な聞き取り）</p> <p>* 聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。</p> <p>（適切な聞き取り）</p> <p>* 聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。</p>	<p>（言語についての知識）</p> <p>* 3人称単数現在形の文構造についての知識がある。</p> <p>（文化についての理解）</p> <p>* オーストラリアや、その国の人々の生活について理解している。</p>
	「話すこと」			
	<p>（言語活動への取組）</p> <p>* 言語活動において、自ら学んだ表現などを使っている。</p> <p>（コミュニケーションの継続）</p> <p>* 原稿に基づいて、人について紹介する文を話し続けている。</p>	<p>（正確な発話）</p> <p>* 人についての3～5文程度の紹介文を、文法に従って正しくスピーチすることができる。</p> <p>（適切な発話）</p> <p>* 適切な速さや声の大きさで話すことができる。</p>	/	<p>（言語についての知識）</p> <p>* 3人称単数現在形の語句や文の使い分けがわかる。</p>

	「読むこと」			
評価基準	<p>(言語活動への取組)</p> <p>*スピーチをよりよいものにするための練習としての音読に取り組もうとしている。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>*理解できないところがあったても、推測するなどして読み続けている。</p>	<p>(正確な音読)</p> <p>*正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。</p> <p>(適切な音読)</p> <p>*重要な情報をゆっくり、明瞭に音読することができる。</p>	<p>(正確な読み取り)</p> <p>*書かれた内容について正しく読み取ることができる。</p> <p>(適切な読み取り)</p> <p>*書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。</p>	<p>(言語についての知識)</p> <p>*単語の発音の違いなど、語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。</p> <p>(文化についての理解)</p> <p>*日本とオーストラリアの季節が逆であることや、オーストラリアで日本語が学ばれていることを理解している。</p>
	「書くこと」			
評価基準	<p>(言語活動への取組)</p> <p>*読みやすい字で書いたり、意欲的に書き直したりしている。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>*表現できないところがあったても聞いたり、調べたりしながら書き続けている。</p>	<p>(正確な筆記)</p> <p>*書こうとすることを読み手に正確に伝えることができる。</p> <p>(適切な筆記)</p> <p>*文のつながりを考えた文章を書くことができる。</p>		<p>(言語についての知識)</p> <p>*3人称単数現在形の文構造についての知識がある。</p>